

理 科

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	理科 002-72・002-82・002-92	A B 902	令和 6 年
4	大日本図書	大日本◆	理科 7 0 2・8 0 2・9 0 2	B 5 986	令和 2 年
11	学校図書	学 図◆	理科 011-72・011-82・011-92	A B 872	令和 6 年
17	教育出版	教 出◆	理科 017-72・017-82・017-92	A B 変型 953	
61	新興出版社 啓林館	啓林館◆	理科 061-72・061-82・061-92	A B 980	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

都立 白鷗高等学校附属中学校 理科 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東 書	4 大日本	11 学 図	17 教 出	61 啓林館
内 容	日本の科学研究を扱っている箇所数	61	142	62	73	88
	世界の先端の科学技術を扱っている箇所数	33	22	39	34	56
	観察・実験を取り上げている箇所数	81	76	88	66	78
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	586	560	407	539	611
	発展的な内容を取り上げている箇所数	62	86	58	69	57
	脱炭素化を扱っている箇所数	18	15	23	15	30
構成 上 の 工夫	単元項目の配列順序	実施時期の実態に合わせて単元を配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、「自然と人間」、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	学習実態を踏まえつつも並列履修にも配慮している。1年は生物分野、化学分野、地学分野、物理分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	各学年とも、第2分野(生物・地学編)、第1分野(化学・物理編)をひとつのまとまりとして掲載している。第2分野、第1分野の順で配置してある。3年は第1分野と第2分野が統合した「自然と人間」、「科学技術と人間」が最後に配置してある。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	なし	あり	あり

都立 小石川中等教育学校 理科 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東 書	4 大日本	11 学 図	17 教 出	61 啓林館
内 容	世界の先端の科学技術を扱っている箇所数	33	22	39	34	56
	発明や発見に関わる科学史を取り上げている箇所数	32	57	34	58	41
	観察・実験を取り上げている箇所数	81	76	88	66	78
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	586	560	407	539	611
	発展的な内容を取り上げている箇所数	62	86	58	69	57
	脱炭素化を扱っている箇所数	18	15	23	15	30
構成 上 の 工夫	単元項目の配列順序	実施時期の実態に合わせて単元を配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、「自然と人間」、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	学習実態を踏まえつつも並列履修にも配慮している。1年は生物分野、化学分野、地学分野、物理分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	各学年とも、第2分野(生物・地学編)、第1分野(化学・物理編)をひとつのまとまりとして掲載している。第2分野、第1分野の順で配置してある。3年は第1分野と第2分野が統合した「自然と人間」、「科学技術と人間」が最後に配置してある。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	なし	あり	あり

都立 両国高等学校附属中学校 理科 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東 書	4 大日本	11 学 図	17 教 出	61 啓林館
内 容	世界の先端の科学技術を扱っている箇所数	33	22	39	34	56
	科学技術をめぐる倫理問題を扱っている箇所数	25	14	51	38	50
	観察・実験を取り上げている箇所数	81	76	88	66	78
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	586	560	407	539	611
	発展的な内容を取り上げている箇所数	62	86	58	69	57
	脱炭素化を扱っている箇所数	18	15	23	15	30
構成 上 の 工夫	単元項目の配列順序	実施時期の実態に合わせて単元を配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、「自然と人間」、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	学習実態を踏まえつつも並列履修にも配慮している。1年は生物分野、化学分野、地学分野、物理分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	各学年とも、第2分野(生物・地学編)、第1分野(化学・物理編)をひとつのまとまりとして掲載している。第2分野、第1分野の順で配置してある。3年は第1分野と第2分野が統合した「自然と人間」、「科学技術と人間」が最後に配置してある。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	なし	あり	あり

都立 桜修館中等教育学校 理科 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東 書	4 大日本	11 学 図	17 教 出	61 啓林館
内 容	世界の先端の科学技術を扱っている箇所数	33	22	39	34	56
	科学技術をめぐる倫理問題を扱っている箇所数	25	14	51	38	50
	観察・実験を取り上げている箇所数	81	76	88	66	78
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	586	560	407	539	611
	発展的な内容を取り上げている箇所数	62	86	58	69	57
	脱炭素化を扱っている箇所数	18	15	23	15	30
構成 上 の 工夫	単元項目の配列順序	実施時期の実態に合わせて単元を配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、「自然と人間」、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	学習実態を踏まえつつも並列履修にも配慮している。1年は生物分野、化学分野、地学分野、物理分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	各学年とも、第2分野(生物・地学編)、第1分野(化学・物理編)をひとつのまとまりとして掲載している。第2分野、第1分野の順で配置してある。3年は第1分野と第2分野が統合した「自然と人間」、「科学技術と人間」が最後に配置してある。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	なし	あり	あり

都立 立川国際中等教育学校 理科 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東 書	4 大日本	11 学 図	17 教 出	61 啓林館
内 容	世界の先端の科学技術を扱っている箇所数	33	22	39	34	56
	科学技術をめぐる倫理問題を扱っている箇所数	25	14	51	38	50
	観察・実験を取り上げている箇所数	81	76	88	66	78
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	586	560	407	539	611
	発展的な内容を取り上げている箇所数	62	86	58	69	57
	脱炭素化を扱っている箇所数	18	15	23	15	30
構成 上 の 工夫	単元項目の配列順序	実施時期の実態に合わせて単元を配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、「自然と人間」、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	学習実態を踏まえつつも並列履修にも配慮している。1年は生物分野、化学分野、地学分野、物理分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	各学年とも、第2分野(生物・地学編)、第1分野(化学・物理編)をひとつのまとまりとして掲載している。第2分野、第1分野の順で配置してある。3年は第1分野と第2分野が統合した「自然と人間」、「科学技術と人間」が最後に配置してある。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	なし	あり	あり

都立 武蔵高等学校附属中学校 理科 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東 書	4 大日本	11 学 図	17 教 出	61 啓林館
内 容	世界の先端の科学技術を扱っている箇所数	33	22	39	34	56
	発明や発見に関わる科学史を取り上げている箇所数	32	57	34	58	41
	観察・実験を取り上げている箇所数	81	76	88	66	78
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	586	560	407	539	611
	発展的な内容を取り上げている箇所数	62	86	58	69	57
	脱炭素化を扱っている箇所数	18	15	23	15	30
構成上の工夫	単元項目の配列順序	実施時期の実態に合わせて単元を配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、「自然と人間」、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	学習実態を踏まえつつも並列履修にも配慮している。1年は生物分野、化学分野、地学分野、物理分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	各学年とも、第2分野(生物・地学編)、第1分野(化学・物理編)をひとつのまとまりとして掲載している。第2分野、第1分野の順で配置してある。3年は第1分野と第2分野が統合した「自然と人間」、「科学技術と人間」が最後に配置してある。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	なし	あり	あり

都立 富士高等学校附属中学校 理科 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東 書	4 大日本	11 学 図	17 教 出	61 啓林館
内 容	世界の先端の科学技術を扱っている箇所数	33	22	39	34	56
	発明や発見に関わる科学史を取り上げている箇所数	32	57	34	58	41
	観察・実験を取り上げている箇所数	81	76	88	66	78
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	586	560	407	539	611
	発展的な内容を取り上げている箇所数	62	86	58	69	57
	脱炭素化を扱っている箇所数	18	15	23	15	30
構成上の工夫	単元項目の配列順序	実施時期の実態に合わせて単元を配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、「自然と人間」、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	学習実態を踏まえつつも並列履修にも配慮している。1年は生物分野、化学分野、地学分野、物理分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	各学年とも、第2分野(生物・地学編)、第1分野(化学・物理編)をひとつのまとまりとして掲載している。第2分野、第1分野の順で配置してある。3年は第1分野と第2分野が統合した「自然と人間」、「科学技術と人間」が最後に配置してある。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	なし	あり	あり

都立 大泉高等学校附属中学校 理科 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東 書	4 大日本	11 学 図	17 教 出	61 啓林館
内 容	日本の科学研究を扱っている箇所数	61	142	62	73	88
	世界の先端の科学技術を扱っている箇所数	33	22	39	34	56
	観察・実験を取り上げている箇所数	81	76	88	66	78
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	586	560	407	539	611
	発展的な内容を取り上げている箇所数	62	86	58	69	57
	脱炭素化を扱っている箇所数	18	15	23	15	30
構成上の工夫	単元項目の配列順序	実施時期の実態に合わせて単元を配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、「自然と人間」、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	学習実態を踏まえつつも並列履修にも配慮している。1年は生物分野、化学分野、地学分野、物理分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	各学年とも、第2分野(生物・地学編)、第1分野(化学・物理編)をひとつのまとまりとして掲載している。第2分野、第1分野の順で配置してある。3年は第1分野と第2分野が統合した「自然と人間」、「科学技術と人間」が最後に配置してある。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	なし	あり	あり

都立 南多摩中等教育学校 理科 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東 書	4 大日本	11 学 図	17 教 出	61 啓林館
内 容	世界の先端の科学技術を扱っている箇所数	33	22	39	34	56
	発明や発見に関わる科学史を取り上げている箇所数	32	57	34	58	41
	観察・実験を取り上げている箇所数	81	76	88	66	78
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	586	560	407	539	611
	発展的な内容を取り上げている箇所数	62	86	58	69	57
	脱炭素化を扱っている箇所数	18	15	23	15	30
構成 上 の 工夫	単元項目の配列順序	実施時期の実態に合わせて単元を配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、「自然と人間」、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	学習実態を踏まえつつも並列履修にも配慮している。1年は生物分野、化学分野、地学分野、物理分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	各学年とも、第2分野(生物・地学編)、第1分野(化学・物理編)をひとつのまとまりとして掲載している。第2分野、第1分野の順で配置してある。3年は第1分野と第2分野が統合した「自然と人間」、「科学技術と人間」が最後に配置してある。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	なし	あり	あり

都立 三鷹中等教育学校 理科 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東 書	4 大日本	11 学 図	17 教 出	61 啓林館
内 容	日本の科学研究を扱っている箇所数	61	142	62	73	88
	世界の先端の科学技術を扱っている箇所数	33	22	39	34	56
	観察・実験を取り上げている箇所数	81	76	88	66	78
	日常生活や社会との関連に関する内容を取り上げている箇所数	586	560	407	539	611
	発展的な内容を取り上げている箇所数	62	86	58	69	57
	脱炭素化を扱っている箇所数	18	15	23	15	30
構成 上 の 工夫	単元項目の配列順序	実施時期の実態に合わせて単元を配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、「自然と人間」、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	交互履修と並列履修どちらにも対応できるように配列している。1年は生物分野、化学分野、物理分野、地学分野、2年は化学分野、生物分野、物理分野、地学分野、3年は物理分野、生物分野、化学分野、地学分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	学習実態を踏まえつつも並列履修にも配慮している。1年は生物分野、化学分野、地学分野、物理分野、2年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、3年は化学分野、生物分野、地学分野、物理分野、「自然と人間」、「科学技術と人間」の順で配置してある。	各学年とも、第2分野(生物・地学編)、第1分野(化学・物理編)をひとつのまとまりとして掲載している。第2分野、第1分野の順で配置してある。3年は第1分野と第2分野が統合した「自然と人間」、「科学技術と人間」が最後に配置してある。
参 考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	持続可能な社会づくりの扱い	あり	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	なし	あり	あり